

6 = 43 受

1/1

~~様式0-1 (1/2)~~

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18312報)

平成30年 7月 2日 6時 35分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 本日5時49分、廃棄物処理建屋 プリコートポンプ室で火災警報が発生しました。 状況は以下のとおりです。 ・発生時刻 5時49分 ・発生場所 発電所構内 5号機廃棄物処理建屋 プリコートポンプ室 ・発見者 当社社員 ・プラント設備への影響 確認中 ・双葉消防本部への連絡時刻 6時09分(119番通報) 現在、当社社員が現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。 【公表区分：B】
	※添付の有・ <input checked="" type="radio"/> 無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

7=30 受

7/1

様式 9-1 (1) / (2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18313報)

平成30年 7月 2日 7時25分
 内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第18312報にてお知らせした、廃棄物処理建屋 プリコートポンプ室での火災警報発生についてその後の状況をお知らせします。 6時34分に当社社員が現場確認を行い、炎および発煙がないことを確認しました。ただし、現場内にはもやが発生していることから引き続き現場確認を継続しています。詳細については状況がわかり次第お知らせします。 【公表区分: B統】 ※添付の有・ <input checked="" type="radio"/> 無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

9=16受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18314報)

<p style="text-align: right;">平成30年7月2日9時5分</p> <p>内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿</p> <p style="text-align: right;">報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦</p> <p style="text-align: right;">連絡先 0240-30-9301</p> <p>原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。</p>	
第25条報告	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第18312報他にてお知らせした、5号機廃棄物処理建屋 プリコートポンプ室での火災警報発生についてその後の状況をお知らせします。</p> <p>8時40分、公設消防の現場確認により「火災ではない」と判断されました。</p> <p>【公表区分：その他】 「火災ではない」と判断されたことから、公表区分を「B」から「その他」に変更しました。</p> <p>※添付の有・(無)</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

10:13 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18315報)

<p>平成30年 7月 2日 10時 0分</p> <p>内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿</p> <p>報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦</p> <p>連絡先 0240-30-9301</p> <p>原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。</p>	
<p>第25条報告</p>	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>本日、8時27分頃、6号機タービン建屋地下1階ヒータールームにおいて、協力企業作業員が倒れているとの連絡が緊急時対策本部に入りました。入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断されたため、9時33分、救急車を要請しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生時刻 8時27分頃 ・発生場所 6号機タービン建屋地下1階ヒータールーム ・体調不良者の所属 協力企業作業員 ・身体汚染の有無 無 ・発生状況 確認中 <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

12:40後

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18316報)

平成30年 7月 2日 12時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第25条-18315報でお知らせした、福島第一原子力発電所構内で発生した協力企業作業員の体調不良について、その後の状況をお知らせします。 当該作業員は、救急車で南相馬市立総合病院に搬送しました。 ・出発時刻: 10時20分 ・到着時刻: 11時02分 【公表区分: C統】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

14-45 受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18317報) 1/6

平成30年 7月 2日 14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<p>・プラント関連パラメータ [7月2日11時00分現在]</p> <p>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 7月1日]</p> <p>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 7月1日]</p> <p>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 7月1日]</p> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクJの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、7月3日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <p>・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 6月28日]</p> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

216

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年7月2日 11:00 現在

【留意事項】
 各計測器については、異常やその他の事故進展の影響を受けて、通常の使用履歴
 条件を越えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存
 在している。プラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさも多
 岐したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して監視の傾向にも着目し
 て総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4m ³ /h CS系: 1.4m ³ /h (7/2 11:00 現在)	給水系: 1.4m ³ /h CS系: 1.4m ³ /h (7/2 11:00 現在)	給水系: 3.0m ³ /h CS系: 0.0m ³ /h (7/2 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 23.3°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 23.1°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 23.1°C (7/2 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.9°C RPV温度 (TE-2-3-69R): 30.9°C (7/2 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 26.9°C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 26.0°C (7/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内部温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 23.3°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 23.0°C (7/2 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.0°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 29.3°C (7/2 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 27.1°C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 25.5°C (7/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	1.24kPa g (7/2 11:00 現在)	4.95kPa g (7/2 11:00 現在)	0.31kPa g (7/2 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH): 13.46Nm ³ /h (JP-A): 13.91Nm ³ /h (JP-B): -Nm ³ /h PCV: -Nm ³ /h (7/2 11:00 現在)	RPV: 11.24Nm ³ /h PCV: -Nm ³ /h (7/2 11:00 現在)	RPV: 16.36Nm ³ /h PCV: -Nm ³ /h (7/2 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.0m ³ /h (7/2 11:00 現在)	17.16Nm ³ /h (7/2 11:00 現在)	16.88Nm ³ /h (7/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 水素濃度 ※1	A系: 0.00vol% B系: 0.00vol% (7/2 11:00 現在)	A系: 0.05vol% B系: 0.04vol% (7/2 11:00 現在)	A系: 0.00vol% B系: 0.02vol% (7/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135) ※2	A系: 指示値 1.01E-03 検出限界値 4.20E-04 Ba/cnt B系: 指示値 1.13E-03 検出限界値 3.60E-04 Ba/cnt (7/2 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.6E-01 Ba/cnt B系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cnt (7/2 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.4E-01 Ba/cnt B系: 指示値 ND 検出限界値 2.4E-01 Ba/cnt (7/2 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	31.2°C (7/2 11:00 現在)	32.0°C (7/2 11:00 現在)	31.2°C (7/2 11:00 現在)	20.0°C (5/13 5:00 現在) ※5
FPC 注水ノック 水位	3.20m (7/2 11:00 現在)	4.15m (7/2 11:00 現在)	3.73m (7/2 11:00 現在)	66.77X100mm (7/2 11:00 現在)

【計測器に関する情報】
 ※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイナス表示される場合があるため)
 ※2: 指示値が検出限界値より低い場合は、計測値によりマイナス表示される場合がある。
 ※3: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を記載する。
 ※4: 異常時の濃度。正かたで誤差修正した値を記載する。
 ※5: 作業により4号機使用済燃料プール注水停止のため、4号機使用済燃料プール水温度に關しては至近のデータに記載。

2018年7月2日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for date (6/17 to 7/1) and I-131 concentration (Bq/L) for various monitoring points (1-9).

CS-134 (Bq/L)

Table with columns for date (6/17 to 7/1) and CS-134 concentration (Bq/L) for various monitoring points (1-10).

CS-137 (Bq/L)

Table with columns for date (6/17 to 7/1) and CS-137 concentration (Bq/L) for various monitoring points (1-10).

- 測定箇所
①4号7/8通風南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤固体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイト内カダ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧固体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイト内カダ建屋南東

※「-」はサンプリング、測定を実施していないことを示す。
※⑥は⑦が採取できなかったため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※NDは検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

3/6

2018年7月2日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路			物揚場排水路		
	6月29日	6月30日	7月1日	6月29日	6月30日	7月1日
採取日	6月29日	6月30日	7月1日	6月29日	6月30日	7月1日
採取時刻	8:20	7:46	7:45	8:15	7:41	7:48
降雨量 (mm/日)	0	0	0	0	0	0
流量 (m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134 (約2年)	ND(0.60)	ND(0.54)	ND(0.75)	ND(0.52)	ND(1.2)	ND(0.60)
Cs-137 (約30年)	5.7	6.1	6.9	5.4	5.5	5.6
全β	12	15	15	5.4	8.9	6.2
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路			C排水路		
	6月29日	6月30日	7月1日	6月29日	6月30日	7月1日
採取日	6月29日	6月30日	7月1日	6月29日	6月30日	7月1日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量 (mm/日)	0	0	0	0	0	0
流量 (m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134 (約2年)	ND(0.89)	ND(1.3)	ND(0.88)	ND(0.91)	ND(0.81)	ND(0.50)
Cs-137 (約30年)	9.6	7.8	8.5	4.1	2.9	3.0
全β	14	15	16	ND(3.5)	4.7	4.5
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は7月1日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

4/6

2018年7月2日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
福島第一原子力発電所推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一5.6号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物掃場前	福島第一1~4号機取水口内北側(汚泥採取北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一2号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日		
採取時刻	7:55	7:42	7:10	7:29	7:24	7:19	7:19	6:48	6:46	6:46		
Cs-134(約2年)	ND(0.49)	ND(0.50)	ND(0.34)	ND(0.65)	ND(0.48)	ND(0.63)	ND(0.63)	ND(0.32)	ND(0.32)	ND(0.32)	60	10
Cs-137(約30年)	ND(0.50)	0.94	3:7	3.1	3.3	3.8	3.8	1.1	0.98	0.98	90	10
全β	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	17	ND(17)	ND(17)		
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000	10,000
Sr-90(約29年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一港湾中央	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口南東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日	7月1日		
採取時刻	6:44	6:42	6:50	7:15	7:15	7:15	7:15	7:15	7:15		
Cs-134(約2年)	ND(0.35)	ND(0.29)	ND(0.30)	ND(0.57)	ND(0.57)	ND(0.57)	ND(0.57)	ND(0.57)	ND(0.57)	60	10
Cs-137(約30年)	0.99	0.91	ND(0.30)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	90	10
全β	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)		
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000	10,000
Sr-90(約29年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

5/6

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度(別表第2第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

6/6

2018年7月2日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

	一時貯水タンクJ (サンプルタンクJ)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2018年6月28日	2018年6月28日			
採取時刻	8:47	8:47			
貯水量 [m ³]	1,150	1,150			
セシウム134	ND(0.49)	ND(0.67)	1	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.63)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.5)	ND(0.33)	3(1)(注)		
トリチウム	930	1,000	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第2第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

16:58 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第18318報)

平成30年7月2日16時40分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第18315報他でお知らせした, 福島第一原子力発電所構内で発生した協力企業作業員の体調不良について, その後の状況をお知らせします。 当該作業員は, 救急車で南相馬市立総合病院に搬送され, 医師により熱中症と診断されました。 なお, 体調不良者は, 本日発生した5号機廃棄物処理建屋プリコートポンプ室での火災警報の発生事象(第18312報他でお知らせ済み)の消防活動に従事したのち, 6号機タービン建屋地下1階ヒータールームで倒れているところを発見されました。 その時の装備は以下の通りです。 全面マスク, 綿手袋, ゴム手袋2重, カバーオール, ヘルメット, 長靴, クールベスト, 消防服 【公表区分: C統】 ※添付の有・ <input type="radio"/> 無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。